

◆演目

歌舞伎

こいびきゃくやまとおうらい  
恋飛脚大和往来「新口村」

にのくちむら

葛畑三番叟・口上

監修・振付・指導/水口 一夫

口上指導/西村 武

舞踊指導/嶋田 睦寿・嶋田 真寿

# 子ども 歌 舞伎公演

## せきのみや

第十八回

日時 令和3年

# 12/12日

13:30開演 [13:00開場]

場所 やぶ市民交流広場 ホール

兵庫県養父市八鹿町八鹿538番地1

出演団体 せきのみや子ども歌舞伎

【お問合せ】 養父市関宮地域局

TEL 079-667-2331 FAX 079-667-3213

令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)

(一財)地域創造地域伝統芸能等保存事業

養父市伝統文化芸術振興補助金事業



入場料 高校生以上 1,300円  
〈前売り〉 中学生以下 500円

※当日券の販売はありません

全席  
指定席

■チケット販売/ [先行販売] 伝承友の会 **お一人様5枚まで**  
10月14日(木)~(関宮公民館のみ)

[一般販売] 10月24日(日)~

■プレイガイド/関宮公民館・やぶ市民交流広場・養父公民館・大屋地域局

■主催/葛畑農村歌舞伎伝承会

■後援/養父市・養父市教育委員会・ノビアホール振興会

■協力/松竹株式会社・たつた舞台株式会社・松竹衣裳株式会社  
株式会社八木源かづら

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況など、やむを得ない状況により中止または延期する場合があります。

access

※専用駐車場の台数には限りがありますので、乗り合わせてお越しください。

◆電車利用  
JR、山陰本線八鹿駅より南西へ徒歩10分

◆バス利用  
八鹿駅前バスのりばより「やぶ市民交流広場前」または「諏訪町」下車すぐ

せきのみや

子ども歌舞伎公演

sekinomiya  
kodomo  
kabuki

◆ 葛畑三番叟

葛畑三番叟は、雪に埋もれながら春を待ち、田畑で種をまき、慈しみながら万物を育て収穫する喜びと、葛畑の自然の移ろいを表現しています。

葛畑は豪雪地帯に位置する地域で、周辺にはスキー場も有しているため、後半に雪が降り喜んで舞う場面があります。舞台では雪の降る様子を太鼓の音で表現しています。

神事としての三番叟から、美しく華やかにと舞踊の流れを取り込み、子どもらしく振付されています。

〔配役〕 安本 奈央(関宮学五年)

岡田 大輝(村岡小六年)

安本 実央(関宮学六年)

◆ 口上 尾崎奏太(日高東中二年)

県指定文化財「葛畑の農村歌舞伎衣装」



歌舞伎

◆ 恋飛脚大和往来「新口村」

傾城梅川と恋仲の亀屋忠兵衛は、梅川の身請け話のいざこざから、公金の封印を切ってしまう。

死を覚悟した梅川と忠兵衛は、せめてその前に忠兵衛の父・孫右衛門に一目会いたいと、雪が深々と降るなか大和国新口村へとやって来ます。しかし、公金に手を付けた忠兵衛はおたずねものとなり、この村にも二人の噂が広まり、追手がせまっていました。

二人は昔なじみの忠三郎の家を訪ねますが留守。出迎えた女房に、忠三郎を呼びに行ってもらおう間に留守宅に潜みます。

障子から外をのぞくと、忠兵衛の父・孫右衛門が通りかかります。二人が格子越しに手を合わせて涙を流していると、孫右衛門が雪に足を取られて転んでしまいます。これに堪えきれず、梅川は飛び出して介抱します。

その様子に全てを察した孫右衛門。大罰を犯しても、忠兵衛は可愛い我が子と嘆きます。忠兵衛は堪えきれず物陰から飛び出して、孫右衛門にすがり付くのです。

折からそこへ、捕方が打つ太鼓の音が響きます。せめて自分の目の届かぬところで縄に掛かってほしいと、孫右衛門は村から逃げる近道を二人に教えます。

忠兵衛と梅川は名残り惜し気にその場を去っていき、孫右衛門は遠ざかる二人をいつまでも見送るのでした。

〔配役〕 孫右衛門 岡田 涉郁(村岡中二年)

亀屋忠兵衛 尾崎 奏太(日高東中二年)

傾城梅川 安本 実央(関宮学六年)

忠三郎女房おしげ 岡田 大輝(村岡小六年)

万歳 安本 奈央(関宮学五年)

令和3年度 葛畑農村歌舞伎伝承友の会 「入会のご案内」

- [会費] 1□1,000円(年会費)□数1□〜
- [特典] 会報誌・チケット先行販売・見学会 過去の上演DVD販売ほか
- [お問合せ] 養父市関宮地域局(伝承友の会事務局) 〒667-1105 兵庫県養父市関宮637 TEL: 079-667-2331 FAX: 079-667-3213 HP: <http://www.kazurahataza.com/>

兵庫・但馬の屋根、水ノ山の深い谷あい葛畑(かずらはた)の舞台、芝居堂があり、昭和43年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。昭和の初めごろまで盛んだった葛畑の農村歌舞伎は一時衰退します。しかし、地元住民の「もう一度歌舞伎を」という熱い思いが兵庫県、関宮町(現・養父市)や関係者を動かし、平成15年に37年ぶりの復活公演を果たしました。また、次代を担う子どもたちへ農村歌舞伎を伝承するため、同年から子ども歌舞伎公演を毎年行っています。このような活動を通して、伝統ある葛畑農村歌舞伎を伝承してまいります。我々の活動にご賛同いただき、お力添えを賜りますよう、友の会へご入会をご案内申し上げます。



国指定重要有形民俗文化財「葛畑の舞台(芝居堂)」

キリトリ線

第18回 せきのみや子ども歌舞伎公演 入場券申込書

氏名		住所	〒
電話番号		FAX	
			受付番号